

令和2年度取組状況

ものづくり工学科 情報通信工学コース 准教授 鈴木達夫

取組状況	
教育	<p>コロナ禍での遠隔授業では、書画カメラを用いたオンデマンド授業を実施した。授業の準備には膨大な時間が必要とされたが、手描きで授業を進めるため、パワーポイントに音声を付加する方法よりも、思考の過程を示すことが可能であり、対面授業と比べても遜色のない高い教育的効果を上げた。</p> <p>定期試験の成績が振るわなかった学生には追試を行うなど、一所懸命にフォローに努め、誰一人も不可をつけないことがなかった。学生の私の授業への評価もかなり高いことと思う。</p> <p>ゼミナールや卒業研究も、きちんと実施することができた。</p>
研究	<p>遠隔授業を効果的に進めるため、書画カメラを用いたオンデマンド授業の手法を研究した。その研究成果は本校の研究紀要にて出版された。</p> <p>鈴木達夫: 書画カメラを用いたオンデマンド動画による遠隔授業の実践、東京都立産業技術高等専門学校 研究紀要第15号</p> <p>鈴木達夫: 書画カメラを用いたオンデマンド動画による遠隔授業の実践、東京都立産業技術高等専門学校荒川FD研修会 分かりやすい遠隔授業事例の紹介(Google MeetによるWEB開催)、2020年10月23日</p>
社会貢献	<p>法人版 連携事業ガイド・都職員向け研究シーズ集へ教員シーズ情報を提供</p> <p>コロナのため、体験入学は実施されなかったが、その代わりに、学校説明会の「なんでも相談会」を2回担当した。(10月24日、12月13日)</p>